

# 爽やかに朝日を浴びて快走。快汗!!

## 第47回早朝日曜マラソン

皆さんもご存知の「早朝日曜マラソン」も今年で47回目を迎えました。昭和51年から始まり、社会体育事業の中でも歴史と伝統のある事業の一つになっています。

今年は、5月7日から7月9日の毎週日曜日の10回、早朝6時30分から開催しております。北斗市内5地区（七重浜・久根別・中央・谷川・本郷）で実施していますが、幼児、小中学生、高校生、一般の方や親子連れなど思い思いのスタイルで参加し、心地良い汗を流して会場を盛り上げてくれています。

### ◎早朝の柔らかな日差しを浴びて!!

少子高齢化が進む現在、人々の健康に対する志向は非常に高まっており、国のスポーツに関する施策であるスポーツ基本法でも、スポーツは「国民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む上で不可欠なもの」と位置付けています。市教育委員会でも市民の皆さんがスポーツに親しみ健康な心身を培い、体力の増進に努め、住みよい社会づくりを目指して事業を進めています。

早朝日曜マラソンは、1・2・3kmの3コースを用意しており、参加する皆さんは、その日の体調に合わせてコースを選択し、自由に判断して参加しています。高齡者の中には、ラジオ体操だけの参加やコースを散歩して参加する方もいます。合計10回の開催となりますが、最終日には全員に累計総距離を記録した「走破証」が贈呈されます。

また、一度も休まず参加した方には、「皆勤賞」、2回までの欠席については「精勤賞」が贈呈されます。

皆さんも、早朝の柔らかな日差しを身体いっぱいに浴び、それぞれのスタイルで心地良い汗を流しましょう。



親子で朝から健康的に



中学生も元気に参加

### ◎学校と地域のつながり

早朝日曜マラソンでは、地域の小学校が事業を実施する上で大きな協力関係の源となっていたいただいています。コミュニティースタールは、学校と保護者や地域が連携して子どもたちを育てていくことが主眼になっていきます。多くの小・中学生や保護者、地域の方々が参加する早朝日曜マラソンは、まさに「地域と共にある学校づくり」に結び付くものです。小学校がマラソンの参加の働きかけをして、社会体育事業に協力することで参加者も増えています。このことは、子どもたちの参加だけでなく、家族や地域の方々へと参加の輪が広がって行くことにつながっています。

また、校長・教頭先生をはじめ、小学校から有志の先生の手を借り、学校内とは違った和やかな雰囲気の中で子どもたちへの温かい声掛けなど、楽しい交流の場が生まれています。参加した子どもたちが、笑顔で先生方と会話したり、一緒に走りながら心地良い汗を流しているのは、素敵な光景です。

子どもが主役となり推進する社会体育事業では、地域の学校が協力し、スポーツ推進委員と学校が連携して事業を進めることで大きな成果が得られると思えます。

このような場や機会を大切にしながら、

早朝日曜マラソンをはじめ、各種社会体育事業を進めていきたいと思えます。



皆勤賞!? 浜分小 大和教頭

### ◎インターハイ（相撲競技）が北斗市に!!

全国高等学校総合体育大会（通称「インターハイ」）は、高校生を対象とし、全国各地の予選を勝ち抜いた選手が集う高校生最大のスポーツの祭典です。夏季大会と冬季大会があり、夏季大会は昭和62年以来36年ぶりに北海道で開催されることになり、北斗市では8月4日（金）～6日（日）に相撲競技が行われます。

北海道予選を見事勝ち抜き、団体戦では大野農業高校、個人戦では大野農業高校と函館水産高校の生徒がインターハイ出場を決めました。（詳細は裏表紙をご覧ください）

大会当日は、自由に観覧ができますので、皆さまの熱いご声援をよろしくお願ひします。

（北斗市スポーツ推進委員

委員長 安達 孝義）